

*** 今日の健康 (12月) ***

＜「レプリコンワクチンは感染する」が本当なら夢のワクチン＞

10月1日から新型コロナワクチンの定期接種がスタートし3月まで公費の接種期間があります。定期接種に使われる新型コロナワクチンは、ファイザー、モデルナ、第一三共の従来からある mRNA ワクチン、アメリカのノババックスが開発し武田薬品工業が販売する組み替えたんぱく質ワクチン、Meiji Seika ファルマの次世代型で自己複製型 mRNA ワクチン（別名レプリコンワクチン）の5種類です。

この中で根拠のない噂が広がっている Meiji Seika ファルマは 2023 年 11 月、次世代 mRNA ワクチンの製造販売承認を日本が世界で初めて取得したワクチンです。

この新しいタイプのワクチンを巡り、安全性が確認できないなどとして 2024 年 8 月 7 日に日本看護倫理学会は「レプリコンワクチン自体が接種者から非接種者に感染するのではないかと懸念があります」と緊急声明を発表しました。

またレプリコンワクチンは世界初承認で日本以外ではまだ承認されておらず、今までのワクチンとは全く異なるものであるとして懸念を表明する学校もあります。

これらの発表を受けて、フィットネスクラブ、美容院、乳幼児や高齢者が集まる施設で「レプリコンワクチンの接種をされた方の入店を控えていただけますようお願い申し上げます」と貼り紙したりウェブサイトに記載したりしています。またレプリコンワクチン接種者の診察を拒否する医療機関も少なからず見受けられます。

ファイザーやモデルナなど従来のメッセンジャーRNA ワクチンは、体内にウイルスのたんぱく質を作ることで抗体や免疫を獲得し、その後たんぱく質は消滅し抗体も減少していきます。一方レプリコンワクチンは、自己増幅型でウイルスのたんぱく質を体内で作り続けるため、ワクチンの効果を比較的長く持続させることができるのが特徴で、従来のワクチンよりも少量でより強い免疫反応を得ることができるとされています。

ワクチンを接種した人から接種していない人へ感染するのではないかと不安について、これが事実であれば「感染」という表現が正しいかどうかは別として、基本的に科学的根拠は全く無く、噂とは逆に夢のワクチンと思います。

噂通りであれば、例えば狂犬病のレプリコンの mRNA ワクチンを野生のオオカミ 1 頭に打っておけば、それが山に帰ったら山の群れが全部、狂犬病ワクチンを打ったオオカミになるということです。人に例えればレプリコン mRNA ワクチンを誰か 1 人に接種すれば、やがては地域全員がワクチンを接種したと同じになるということなのです。

厚労相は 10 月 4 日の会見で「ワクチン成分が他者に伝播し健康被害が生じるという科学的知見はなく、こうした内容について厚労省のホームページで周知を行っているところ」と述べています。とはいえ、レプリコンワクチンのコンセプトは良いと思いますが現時点で日本でしか承認されていないのが懸念される点と考えています。

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り もみじ山公園バス停裏

